2026.11.09 全校朝会講話

「届けよう！服の力プロジェクト」

校長 松本 雅史

11 月に入り、朝夕が冷え込むようになってきました。その日で一番寒かった時の気温を最低気温といいますが、先週 1 週間の最低気温は何度くらいだったか知っていますか？

1 日　12.8℃　　2 月　12.1℃　　3 火　11.0℃
4 水　11.7℃　　5 木　11.7℃　　6 金　14.4℃
7 土　11.7℃

寒いなあといっても、10℃を下回ることはなかったのですね。

さて、ちょうど 1 か月前に、私は全校朝会で「難民」の話をしました。皆さんは覚えていますか。

皆さんもニュースでご存じのとおり、今世界では、悲しい争いがいたるところで起こっています。ウクライナでは、先日も爆弾による攻撃でたくさんの人が犠牲になりました。攻撃された中に、支援物資を配っていた学校もあって、集まっていた多くの人が犠牲になったという話でした。ウクライナの難民は６００万人と伝えられています。参考までに、小平市の人口は約 20 万人です。

以前もお話しましたが、戦争や内乱で住む場所を奪われ、命からがら逃げてきた人たちのことを「難民」と呼びます。現在、世界中に難民は、1 億 1000 万人といいます。そして、この難民の半分近くがこどもです。皆さんと同じこどもです。そのこどもたちの中には、親を失ったり、離ればなれになったりしている子も少なくないのです。

その難民の皆にも服を楽しむ服の力を届けようという取組を、早稲田実業学校高等部の皆さんの呼びかけで本校も行いました。先週の金曜日でこの取組は終了しました。多くの皆さんが、協力くださっ

たことに心から感謝します。取組をすすめてくれた５年生の皆さん、本当にありがとうございました。この後、５年生からこの取組の報告がありますので、しっかり聞いてください。

＜５年生：２１７１着が集まった報告＞



早実生に服をお渡しする実行委員



高校生から託された回収ボックスには、毎日あふれるほど服が集まっていました。

素晴らしいですね！みんなの届けてくれた服で、多くの難民の人たちが笑顔になってくれたらと願います。

今回、たくさんの服が集まったということは、それだけ難民の方のことを考えてくれる人の輪が広がったということだと思います。世界には、まだまだ様々な問題があります。困っている人や苦しんでいる人がいます。しかし、そうしたことを私たちはほとんど知りません。苦しみの中にいる人たちのことを、私たちは、もっともっと知って、自分にできることはないか考えて行動することは、とても大切なことだと思います。

今日の話の始めに、最近の最低気温の話をしましたが。ウクライナの 11 月の最低気温は０℃にもなります。相当寒いですね。

今朝は、服の力で難民の人たちに笑顔を届けようという５年生の活動の成果について紹介しました。これからも、みんなの真心と行動で、世界に平和の輪を広げていきましょう。